

今年が一番福は誰の手に?

福男・福女選びを実施

1月10日、春日地域の春日神社で「一番福」をかけて230mの農道を駆け抜ける、丹波版「福男・福女選び」が行われました。新型コロナウイルスの影響で地域の活気が低下しないように、下野村地区の青年団が参加者を市内在住者に限り、様々な感染対策を徹底して実施しました。

各部門の一番福は、小学生男子：船越瑛太さん、小学生女子：近藤瑠香さん、一般男子：足立史音さん、一般女子：近藤優衣さんでした。



表彰状を手にした、各部門1番福のみなさん

姉妹都市提携を結ぶケント市・オーバン市と オンライン会議を開催

1月22日、平成30年8月に姉妹都市提携を結んだアメリカ合衆国のケント・オーバン両市の市長と林市長が、オンライン会議でお互いの近況を話し合いました。

オーバン市のバックス市長は「コロナ禍で大都会に住む必要がなくなってきたことは丹波市にとって良い流れ」と話し、林市長は「人と人のつながりを大切に、少子化対策に取り組みたい」と意気込みました。



オンライン会議で両市長らと話す林市長（手前から3人目）

ITを楽しく学ぶ交流拠点

廃校舎を活用した「芦田集学校」開校



スタッフからロボットプログラミングを教わる小学生

1月17日、旧芦田小学校校舎を活用し、パソコンの相談やプログラミングなど、地域のIT普及を目指す交流施設「芦田集学校」が開校しました。当時の面影を残し改装された教室などには、IT機器の無料相談コーナーや、Wi-Fi完備のフリールームもあり、学習や仕事に利用できます。

小寺啓基校長は「自由に使ってもらえるパソコンやタブレット、ロボットゲームがあり、気軽に来て楽しんで学んでももらえれば」と話しました。

阪神・淡路大震災の教訓と経験を伝える 防災学習を実施



地震体験車で震度7の揺れを体験する児童

1月20日、「ひょうご安全の日丹波地域のつどい」が開かれ、青垣小学校の5・6年生が、普段から災害に備えておくことの大切さや消火器の使い方などを学び、地震の揺れを体験しました。

地震体験車で震度7の揺れを体験した児童たちは「地震の時は机の下に隠れるように教えられたけど、震度7では体が思うように動かなかった。怖かった」と口々に話していました。